

CASBEE®熊本《新築》【性能表示】

■ 建物概要				■ 外観	
建物名称	(仮称)サンメゾン水前寺1丁目	階数	地上15F		けしてください。
建設地	熊本県熊本市中央区水前寺1丁目1	構造	RC造		
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	280 人		
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年		
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2018年4月 予定	評価の実施日	2016年5月1日		
敷地面積	1,315 m ²	作成者	中尾 俊平		
建築面積	486 m ²	確認日			
延床面積	6,441 m ²	確認者			

1 CASBEE評価結果																																				
■ 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)																																				
★★★★★			BEE = 1.3	■BEE(環境効率) = $\frac{Q \text{ (環境品質)}}{L \text{ (環境負荷)}}$																																
			■環境効率評価基準																																	
			<table><tr><th rowspan="2">ランク</th><th rowspan="2">ランク表示</th><th rowspan="2">評価</th><th colspan="2">判定値</th></tr><tr><th>BEE値</th><th>Q値</th></tr><tr><td>S</td><td>★★★★★</td><td>素晴らしい</td><td>3.0以上</td><td>50以上</td></tr><tr><td>A</td><td>★★★★★</td><td>大変良い</td><td>1.5以上3.0未満</td><td>—</td></tr><tr><td>B⁺</td><td>★★★★</td><td>良い</td><td>1.0以上1.5未満</td><td>—</td></tr><tr><td>B⁻</td><td>★★★</td><td>やや劣る</td><td>0.5以上1.0未満</td><td>—</td></tr><tr><td>C</td><td>★</td><td>劣る</td><td>0.5未満</td><td>—</td></tr></table>		ランク	ランク表示	評価	判定値		BEE値	Q値	S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上	A	★★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—	B ⁺	★★★★	良い	1.0以上1.5未満	—	B ⁻	★★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—	C	★	劣る	0.5未満	—
ランク	ランク表示	評価	判定値																																	
			BEE値	Q値																																
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上																																
A	★★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—																																
B ⁺	★★★★	良い	1.0以上1.5未満	—																																
B ⁻	★★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—																																
C	★	劣る	0.5未満	—																																
			■ライフサイクルCO ₂ 排出性能評価基準																																	
			<table><tr><th>判定値(排出率)</th><th>ランク表示</th></tr><tr><td>30%以下</td><td>☆☆☆☆☆</td></tr><tr><td>30%超60%以下</td><td>☆☆☆☆</td></tr><tr><td>60%超80%以下</td><td>☆☆☆</td></tr><tr><td>80%超100%以下</td><td>☆☆</td></tr><tr><td>100%超</td><td>☆</td></tr></table>		判定値(排出率)	ランク表示	30%以下	☆☆☆☆☆	30%超60%以下	☆☆☆☆	60%超80%以下	☆☆☆	80%超100%以下	☆☆	100%超	☆																				
判定値(排出率)	ランク表示																																			
30%以下	☆☆☆☆☆																																			
30%超60%以下	☆☆☆☆																																			
60%超80%以下	☆☆☆																																			
80%超100%以下	☆☆																																			
100%超	☆																																			
■ ライフサイクルCO ₂ 排出性能(ランク表示)			排出率																																	
☆☆☆☆☆			82%																																	

2 熊本県重点評価結果

重点事項総合評価



評価点

81

重点事項1 温室効果ガス排出量削減の推進

93.4

重点事項2 安全安心で暮らしやすい社会の実現

58.7

重点事項3 県の地域資源の有効活用と保全

82.5

重点事項4 循環型社会の実現

76.4

熊本県重点評価基準

判定値(評価点)	ランク表示
100点以上	
80点以上100点未満	
60点以上80点未満	
40点以上60点未満	
40点未満	

※評価点は、100点以上が推奨です。

CASBEE®熊本《新築》評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)サンメゾン水前寺1丁目	階数	地上15F
建設地	熊本県熊本市中央区水前寺1丁目1	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	280 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年4月 予定	評価の実施日	2016年5月1日
敷地面積	1,315 m ²	作成者	中尾 俊平
建築面積	486 m ²	確認日	
延床面積	6,441 m ²	確認者	



けしてください。

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.7

Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.4

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.1

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー LR1のスコア= 4.0

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.0

LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.0

3 熊本県重点評価結果

重点事項総合評価

評価点 = 81

重点事項1: 温室効果ガス排出量削減の推進 評価点 = 93.4

重点事項2: 安全安心で暮らしやすい社会の実現 評価点 = 58.7

重点事項3: 県の地域資源の有効活用と保全 評価点 = 82.5

重点事項4: 循環型社会の実現 評価点 = 76.4

重点事項の評価(レーダーチャート)

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2014年版 (仮称)サンメゾン水前寺1丁目			■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)			
スコアシート 実施設計段階			欄に数値またはコメントを記入			
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						3.1
Q1 室内環境			0.40		-	3.7
1 音環境		3.0	0.15	3.3	1.00	3.2
1.1 騒音		3.0	0.50	3.0	0.50	
1.2 遮音		3.0	0.50	3.6	0.50	
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能		3.0	-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20	
1.3 吸音		3.0	-	3.0	-	
2 温熱環境		2.0	0.35	5.0	1.00	4.3
2.1 室温制御		3.0	0.50	5.0	1.00	
1 室温	日本住宅性能表示基準 断熱等性能等級4	3.0	0.63	-	-	
2 外皮性能		3.0	0.38	5.0	1.00	
3 ゾーン別制御性		3.0	-	-	-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式		1.0	0.30	-	-	
3 光・視環境		3.0	0.25	3.5	1.00	3.3
3.1 昼光利用		3.0	0.30	4.0	0.50	
1 昼光率	3.0%~9.5%	3.0	0.60	5.0	0.50	
2 方位別開口		-	-	3.0	0.30	
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策		3.0	0.30	3.0	0.50	
1 昼光制御		3.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度		3.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御		3.0	0.25	-	-	
4 空気質環境		3.0	0.25	3.6	1.00	3.4
4.1 発生源対策		3.0	0.60	4.0	0.63	
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆をほぼ全面的に採用	3.0	1.00	4.0	1.00	
2 アスベスト対策		-	-	-	-	
4.2 換気		3.0	0.40	3.0	0.38	
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能		3.0	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理		-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視		3.0	-	-	-	
2 喫煙の制御		3.0	-	-	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.4
1 機能性		3.0	0.40	4.2	1.00	3.9
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	5.0	0.60	
1 広さ・収納性	各住戸に1ギガビットのインターネット環境を整備	3.0	-	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応		3.0	-	5.0	1.00	
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	3.0	0.40	
1 広さ感・景観		3.0	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース		3.0	-	-	-	
3 内装計画		3.0	1.00	3.0	0.50	
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-	
3 衛生管理業務		-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性		3.0	0.30	-	-	
2.1 耐震・免震		3.0	0.50	-	-	
1 耐震性		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水管HIVP 排水管VP	4.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	

2.4 信頼性	1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-			
	2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-			
	3	電気設備		3.0	0.20	-	-			
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-			
	5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-			
	3 対応性・更新性			2.8	0.30	3.3	1.00	3.1		
3.1 空間のゆとり	1	階高のゆとり	階高2.91m	-	-	3.6	0.50			
	2	空間の形状・自由さ		3.0	-	4.0	0.60			
				3.0	-	3.0	0.40			
	3.2 荷重のゆとり			3.0	-	3.0	0.50			
	3.3 設備の更新性			2.8	1.00	-	-			
	1	空調配管の更新性	3.0	0.20	-	-				
	2	給排水管の更新性	2.0	0.20	-	-				
	3	電気配線の更新性	3.0	0.10	-	-				
	4	通信配線の更新性	3.0	0.10	-	-				
	5	設備機器の更新性	3.0	0.20	-	-				
	6	バックアップスペースの確保	3.0	0.20	-	-				
	Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.1		
	1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0		
	2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0		
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30	-	-	2.0			
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50	-	-				
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-				
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.4			
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.0			
1 建物外皮の熱負荷抑制			日本住宅性能表示基準、断熱等性能等級4		5.0	0.20	-	-	5.0	
2 自然エネルギー利用					3.0	0.10	-	-	3.0	
3 設備システムの高効率化			BEI	非住宅 1.00	住宅(専有部) 0.79	4.2	0.50	-	-	4.2
集合住宅以外の評価(3a.3b)					1.0	-	-	-		
集合住宅の評価(3c)			BEI 0.79		4.2	1.00	-	-		
4 効率的運用					3.0	0.20	-	-	3.0	
集合住宅以外の評価					-	-	-	-		
4.1 モニタリング					3.0	-	-	-		
4.2 運用管理体制					3.0	-	-	-		
集合住宅の評価					3.0	1.00	-	-		
4.1 モニタリング					3.0	0.50	-	-		
4.2 運用管理体制					3.0	0.50	-	-		
LR2 資源・マテリアル					-	0.30	-	-	3.0	
1 水資源保護					3.4	0.20	-	-	3.4	
1.1 節水			台所にはシングルバー混合水栓、便器は節水型		4.0	0.40	-	-		
1.2 雨水利用・雑排水等の利用					3.0	0.60	-	-		
1			雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-		
2			雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-		
2 非再生性資源の使用量削減					3.0	0.60	-	-	3.0	
2.1 材料使用量の削減					3.0	0.10	-	-		
2.2 既存建築躯体等の継続使用					3.0	0.20	-	-		
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			ー		3.0	0.20	-	-		
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			居室床下地にパーティクルボードを使用		3.0	0.20	-	-		
2.5 持続可能な森林から産出された木材					3.0	0.10	-	-		
2.6 部材の再利用可能性向上への取り組み					3.0	0.20	-	-		
3 汚染物質含有材料の使用回避					3.0	0.20	-	-	3.0	
3.1 有害物質を含まない材料の使用					3.0	0.30	-	-		
3.2 フロン・ハロンの回避					3.0	0.70	-	-		
1			消火剤		-	-	-	-		
2			発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-		
3			冷媒		3.0	0.50	-	-		
LR3 敷地外環境					-	0.30	-	-	3.0	
1 地球温暖化への配慮			積極的な省エネルギー対策		3.7	0.33	-	-	3.7	
2 地域環境への配慮					2.5	0.33	-	-	2.5	
2.1 大気汚染防止					3.0	0.25	-	-		
2.2 温熱環境悪化の改善					2.0	0.50	-	-		
2.3 地域インフラへの負荷抑制					3.0	0.25	-	-		
1			雨水排水負荷低減		-	-	-	-		
2			汚水処理負荷抑制		-	-	-	-		
3			交通負荷抑制		3.0	0.50	-	-		
4			廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.50	-	-		
3 周辺環境への配慮					3.0	0.33	-	-	3.0	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.40	-	-		
1			騒音		3.0	1.00	-	-		
2			振動		-	-	-	-		
3			悪臭		-	-	-	-		
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制					3.0	0.40	-	-		
1			風害の抑制		3.0	0.70	-	-		
2			砂塵の抑制		3.0	-	-	-		
3			日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-		
3.3 光害の抑制					3.0	0.20	-	-		
1			屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-		
2			昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-		

CASBEE®熊本《新築》【配慮事項】

4 設計上の配慮事項

総合

空気住環境、機能的な空間作り、敷地内環境、省エネルギー、敷地外環境への配慮にそれぞれ取り組んでおり、低炭素社会の実現に努めている。

Q1 室内環境

全戸サッシは複層ガラスを使用、外額壁は断熱材を吹付けた防露壁とした。またシックハウス対策はF☆☆☆☆材料を採用した。

Q2 サービス性能

共用廊下・住戸内床は段差をなくし、バリアフリーに対処した。

Q3 室外環境（敷地内）

建物を高層化することにより、建物周辺に空地を設け、採光・通風を確保した。

LR1 エネルギー

共用部照明は、タイムスケジュール制御とし、共用部・住戸内共、主要な照明はLED照明を採用、給湯器はエコキュートを採用した。

LR2 資源・マテリアル

流し台等の水栓は節水型とし、便器も節水型とした。

LR3 敷地外環境

前面道路沿いに植栽帯を設け、緑豊かな通りとなるようにした。

その他

熊本県重点評価結果スコアシート

実施設計段階

建物名称 (仮称)サンメゾン水前寺1丁目

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE熊本《新築》2015年版

★熊本県重点評価結果				総合評価点		81
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数			
① 温室効果ガス排出量削減の推進				93.4	0.40	37.36
Q1-2.1.2	外皮性能	4.6	0.05			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.05			
Q1-3.2.1	昼光制御	3.0	0.05			
LR1-1	建物外皮の熱負荷抑制	5.0	0.15			
LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.20			
LR1-3	設備システムの高効率化	4.2	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	3.0	0.10			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	3.0	0.10			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				58.7	0.20	11.74
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	3.0	0.25			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25			
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.15			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	2.0	0.20			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.15			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				82.5	0.20	16.50
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	3.0	0.20			
LR2-1.1	節水	4.0	0.30			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.20			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	3.0	0.30			
④ 循環型社会の実現				76.4	0.20	15.28
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.0	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	3.2	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数) の総和
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①～④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数) の総和 × (5/4) × 20
 ※重み係数の総和は、「1」であること。
 ※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数